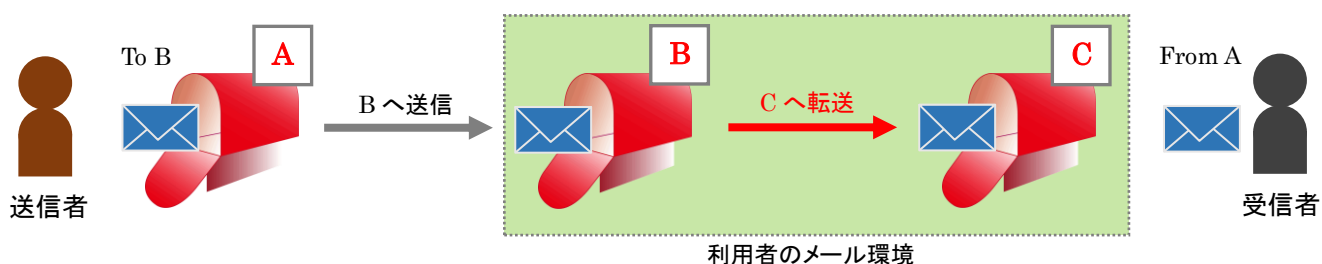


SafetyAnswer によるメール転送

1. 従来のメール転送と返信

受信したメールは、別のアドレスへ転送して受信することができます。



転送で受け取ったメールに返信すると



受信者は、本来の送信先 [B] ではなく、転送先の [C] からメールを受け取るようになります。

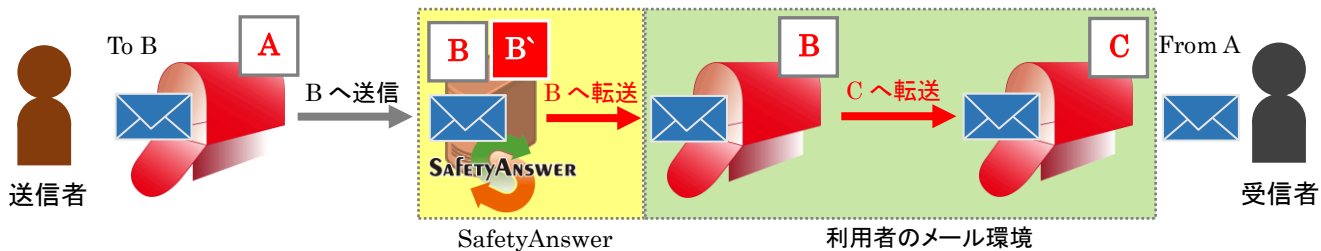
もし、[B] から返信したい場合は、返信者が [B] から送信するために [B] のアカウントを持っている必要があります。



また返信者は、自身のアカウント [C] と転送元アカウント [B] を使い分ける必要があります。

2. SafetyAnswer の実装によるメール転送と返信

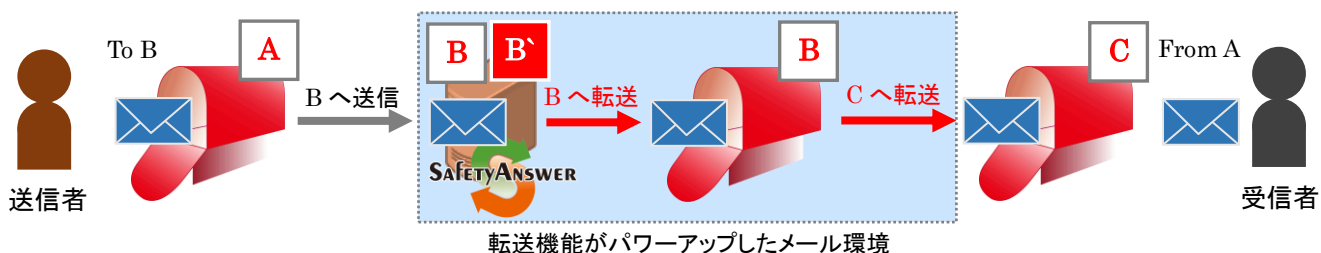
SafetyAnswer が最初にメールを受信する様に、利用者メールサーバの前に設置します。



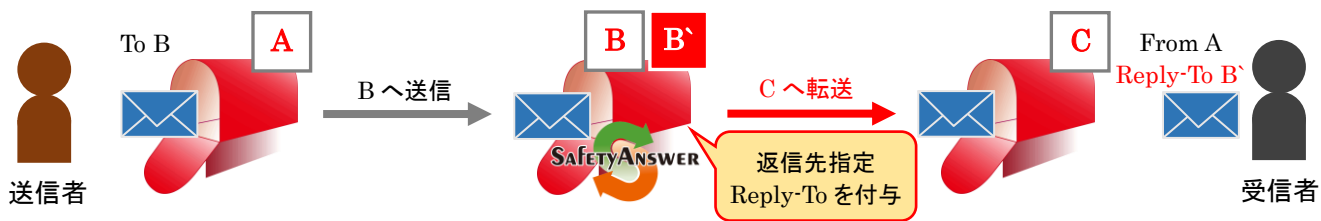
DNS の設定 (MX レコード) を変更して、利用者環境 [B] へのメールが SafetyAnswer [B] へ届く様に切り替えます。その結果、[B] へ届くメールは、最初に SafetyAnswer が受信し、必要な処理を行った後に利用者のメール環境へメールが届くようになります。

通常では、DNS の設定を変更する以外に、利用者メール環境を変更する必要はありません。

以上の設定の結果、SafetyAnswer と [B] を処理する利用者メールサーバは、[B] へのメールを処理する一体となったメールシステムとして働きます。



SafetyAnswer を実装した環境でも、同様に転送して受信することができます。



転送で受け取ったメールに返信すると (送信者アドレスを匿名化した場合は、送信でも良い)

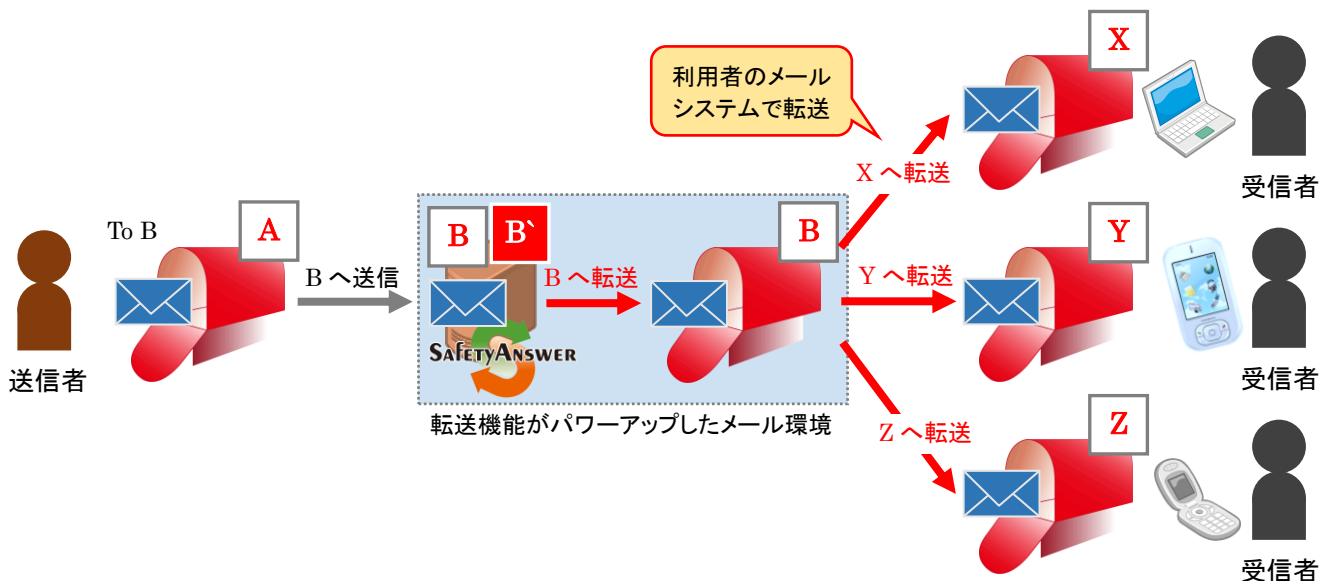


[C] よりメールを受信した SafetyAnswer [B'] は、[A] 宛てのメールと判断し、本来の送信先 [B] からのメールに変更して、受信者 [A] へメール送信します。

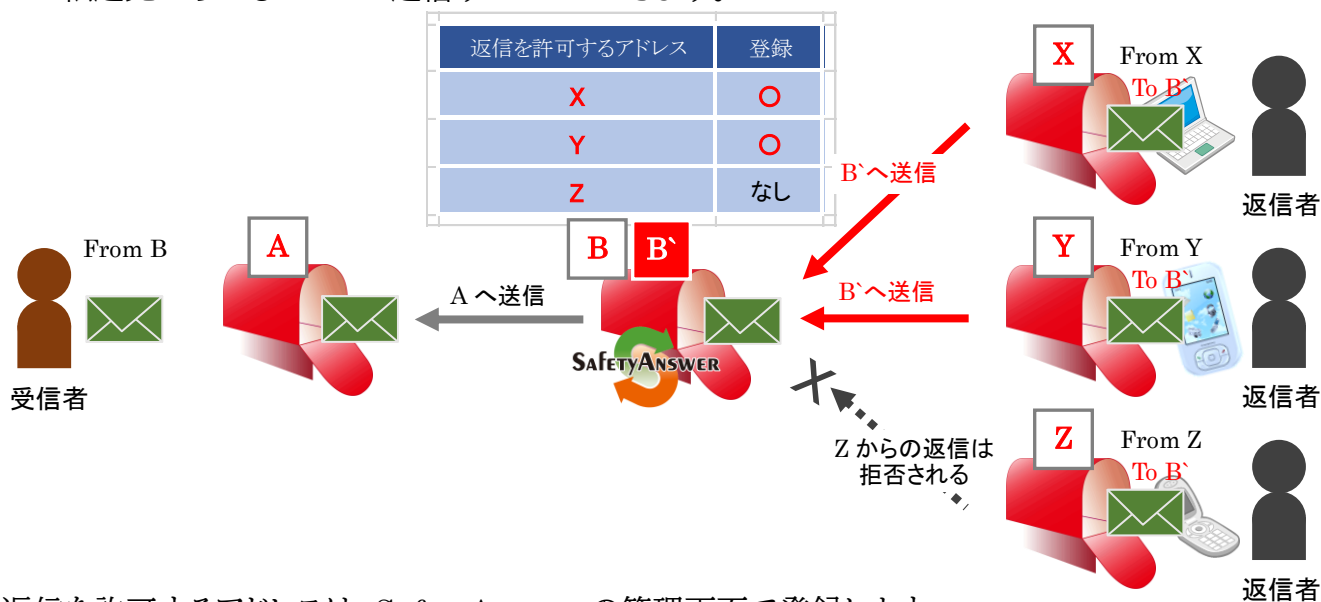
この様に、SafetyAnswer を実装した環境では、メールの転送先で転送元のアカウントを持っていないくとも、転送元を経由してメールを返信することができます。

3. SafetyAnswer の実装でメールに返信できる利用者を限定できる

利用者メール環境では、自由にメールを転送して回報することができます。



SafetyAnswer へ返信を許可するアドレスを登録することで、利用者メール環境で転送されたメールの転送先からでもメールを返信することができます。



返信を許可するアドレスは、SafetyAnswer の管理画面で登録します。

送信者アドレスを匿名化しない場合は、返信操作によって転送元アドレス [B] から送信することが可能です。送信者のアドレス [A] を宛先に明に指定して送信してしまった場合は、発信者のアドレスが送信元に設定されて、転送元アドレス [B] を経由せず直接メールが届けられてしまいます。

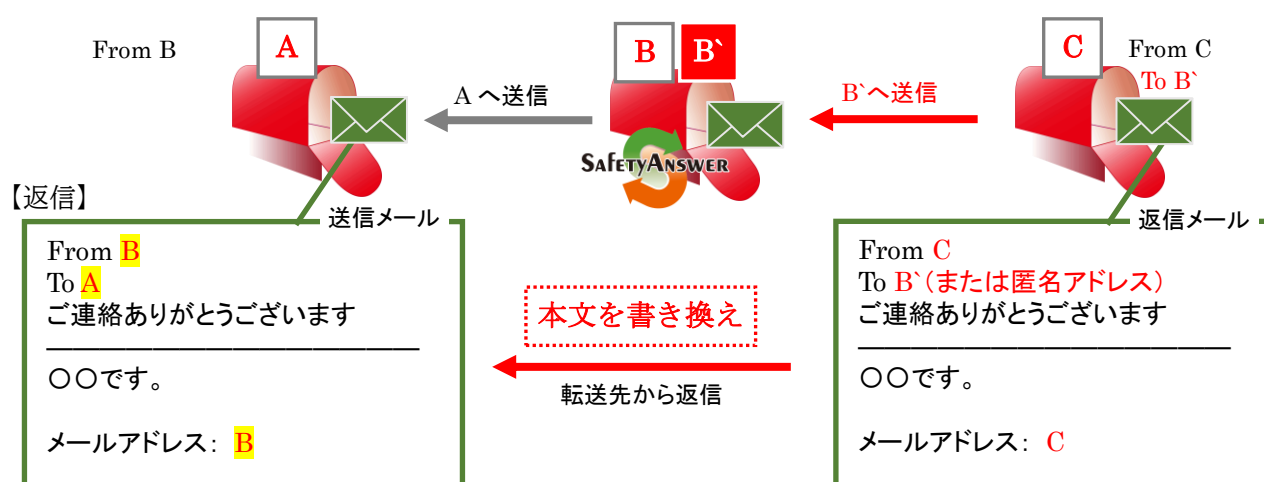
送信者アドレスを匿名化して運用をした場合は、届いたメールの送信者アドレス(匿名アドレス)へ返信することで転送元アドレス [B] から送信されます。送信者 [A] へ直接メールを送ることはできません。

その結果、送信者アドレスを匿名化して運用をした場合は、返信を許可するアドレスが登録されていないメールの回報先からは、メールの送信元へ返信されることを完全に防ぐことができます。

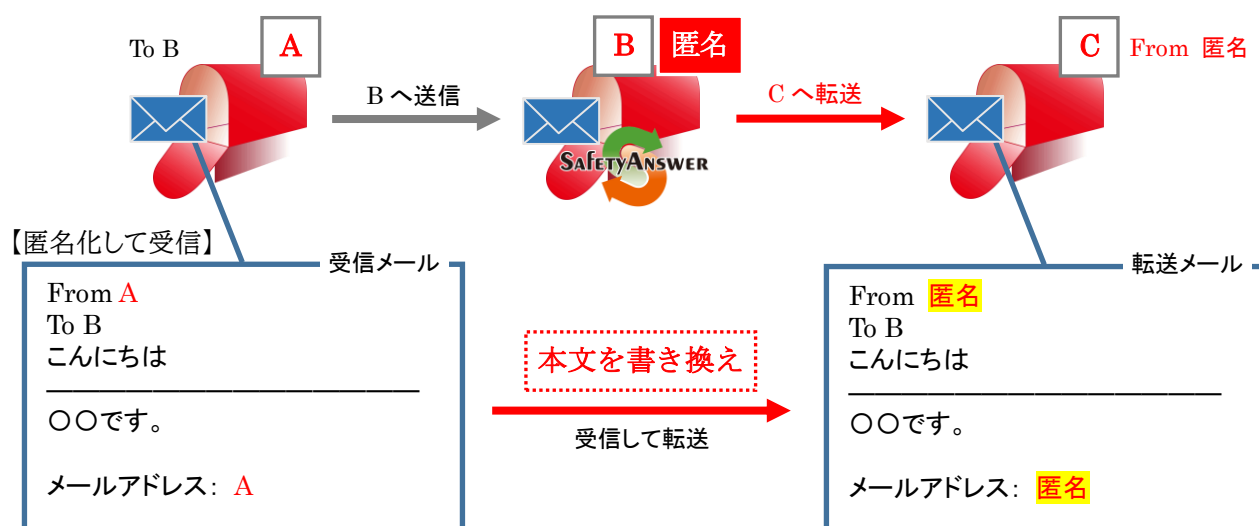
4. 転送先のメールアドレスは常に秘匿され、送信者のメールアドレスも匿名化できる

SafetyAnswer を利用したメール環境で転送した場合、転送先のメールアドレスは、メールを送ってきた相手からは常に秘匿されます。メールアドレスが相手に知られることはありません。また、送信者のメールアドレスを匿名化して受信することも選択できます。

返信メールの本文に記載されている転送先のアドレス(返信者のアドレス)は、メールが返信される時に転送元のアドレスに書き換えられてメールが送信されます。メール本文の署名など、返信者のアドレスが記載されていたとしても、転送元のアドレスに書き換えられてメールが返信されます。以下の返信操作で、



また、送信者のメールアドレスを匿名化して受信した場合、受信メールの本文についても同様の書き換え処理が行われ、メール本文からメール送信者のアドレスが読み取られることはありません。

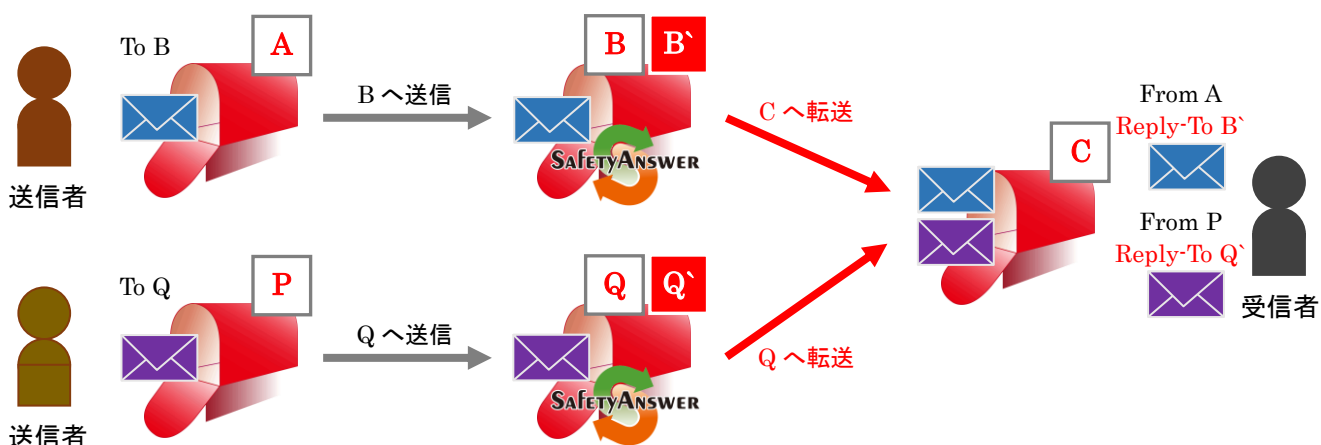


ただし、SafetyAnswer によって返信及び受信メールの本文が正しく読み取れて解釈ができた場合で、不正な文字コードやエンコーディング、難解なメール構造など、全てのメールで正しく処理ができることを保証するものではありません。

5. 転送されたメールの返信先を利用者が意識する必要がない

SafetyAnswer によって転送されたメールに返信をする場合、利用者はどこへ返信がされるのかを意識する必要がなく、また、変更することもできません。返信されるメールは、ただ、転送で送られてきたルートを正確に遡ってメールが届けられます。

もし、違った転送元アドレスからの転送メールを一つのメールアドレスで受信するような運用をした場合でも、メールへの返信操作により、正しい返信先がメールの宛先に自動的に設定されてメールを送信することができます。



送信者 **A** から転送されて届いたメールと、送信者 **P** から転送されて届いたメールは、共に転送先 **C** へ届きます。

それぞれから届いたメールは、返信操作をすることで、正しい返信先アドレスが送信先アドレスとして設定されてメールを返信することができます。返信者が返信先アドレスを選択する必要はありません。

